

第4回青森市平和の日等検討委員会 会議概要

【開催日時】平成27年11月4日（水曜日）16時00分～17時10分

【開催場所】青森市役所第二庁舎2階 庁議室

【出席委員】内海隆委員長、加川幸男委員、逢坂巖委員、岩渕久男委員、大坂昭委員、今村修委員、谷崎嘉治委員、福富美紀委員、野呂一則委員 《計9名》

【欠席委員】山田由子委員 《計1名》

【事務局】総務部長 嶋口幸造、総務部理事 鈴木裕司、総務課長 岸田耕司、総務課主幹 太田慎二、総務課主査 三浦章二、総務課主事 牧寛子 《計6名》

【会議内容】

1 議事

- (1) 「平和の日の制定」に関する答申（案）について
- (2) 平和教育の推進及び市民の平和意識の醸成に関する報告（案）について

2 その他

【検討委員会議事要旨】

・資料1 ページ目について

○委員

二段落目、青函連絡船についての記述があり、船の名前が挙げられているが、ここまで列挙するのであれば全部の船の名前を挙げてはどうか。

○委員

二段落目、青函連絡船と比べると青森空襲の記述が少ない。この空襲でみんな住む家を失って大変な思いをしたんだということにもっと言及してほしい。

○委員

先の大戦では旧青森市、旧浪岡町併せて3,990名もの尊い命が失われた、特に10代20代の若者が犠牲になったという事実も入れてほしい。

○委員

日本は被害を受けただけでなく他国に被害を与えたという事実もあるのだから、その点も書かないときちんと歴史としては認識されないと思う。他国に被害を加え死亡者を出したということを反省しなければならないという内容も書いた方がよいのではないか。

○委員

このページは導入部分なのだから事実だけを淡々と書けばよいのではないか。そこまで細かく記述する必要はないのではないか。

<検討結果>

- ・青函連絡船の箇所は簡略化することとするが、乗客乗務員の死亡者数については明記する。
- ・先の大戦で旧青森市、旧浪岡町併せて3,990名もの尊い命が失われたということは明記する。

・資料2 ページ目について

○委員長

項目1「平和の日の必要性について」の「必要性」という表記、タイトルとしては強い口調の印象を受ける「必要性」がいいのか、「制定」ぐらいがいいのか、御意見をいただきたい。

○委員

この委員会が平和の日が必要かどうかについて検討するためできたという経緯を踏まえると、「必要性」という表記でいいのではないかと思う。

<検討結果>

- ・項目1タイトルは「平和の日の必要性について」のままとする。

・資料3 ページ目について

○委員

項目3「平和の日の位置付け・市民への周知方法について」の「市民への周知」という言葉は、市民は知らないから行政が教えますよみたいな上から目線の感じを受けるので変えた方がよいのではないか。

○委員

項目3は記念行事の考え方について記載している部分なので、平和の日の位置付け云々ではなくて、単純に「平和の日の記念行事等について」といったタイトルにしてはどうか。

<検討結果>

- ・項目3タイトルは「平和の日の記念行事等について」とする。

・資料5 ページ目について

○委員

下から5行目「被爆地である長崎市を訪れ」という表記、広島市も被爆地なので、別な表記にした方がよいのではないか。被爆地には広島市と長崎市があつて長崎市の方に生徒を派遣しているという文言にならないだろうか。

○委員長

長崎市が主催しているイベントに生徒を派遣しているので、誤解を招かないように「長崎市が主催している」という表現を使うのはどうだろうか。

<検討結果>

- ・意見のあった箇所は『長崎市主催の「青少年ピースフォーラム」に参加し』とする。

・「青森市平和の日」の制定に関する答申並びに平和教育の推進及び市民の平和意識の醸成に関する報告書（案）について

○委員長

案について、皆さんの思いは大体表現されていると思うが、この内容でよろしいか。

(委員から異議なしの声)

○委員長

それでは満場一致で。今後は市長に答申報告することになるが、日程は11月12日11時45分からなので都合のつく方はご一緒にいただきたい。

それでは、この案については、私と事務局とで文言等を調整し、12日に市長にお渡しできる形にしたいと思う。

・その他

○委員長

10月6日に南中学校で開催された平和を考える集いに参加した。戦争を題材にした作品の朗読もあったが、内容をそんなに重くしていなく、中学生がスッと入っていけるもので、今までになく感動した。子どもたちが子どもたちに伝えるという、次に開催するとしても無理なくできそうな感じを受け、事業展開が見えてくる非常にいい例だったと思う。

【 会 議 終 了 】